

臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部附属病院放射線科では、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究課題名：高速撮像技術である圧縮センシング技術と k 空間 Spiral 収集を用いた Spin Echo T1 強調頸動脈プラークイメージングの臨床的有用性の検討

1. 研究の概要

MRI 検査は MRI 装置性能向上に伴い画質の向上が期待できる反面、臨床現場からの要望の増加により検査時間が延長する傾向にあります。そこで、この研究では MRI 検査において頸動脈プラークの診断能向上と併せて撮像時間の短縮化を目指します。

2. 目的

本研究は、MRI 検査において頸動脈プラークの診断能向上と併せて撮像時間の短縮化が目的です。なお、この研究は、頸部血管狭窄症や脳梗塞症例に対して、高速かつ高画質な頸動脈プラークイメージングに関連する新しい知識を得ることを目的とする学術研究活動として実施されます。

3. 研究実施予定期間

この研究は、研究機関の長の許可後から 2024 年 3 月まで行われます。

4. 対象者

2021 年 4 月 1 日～2022 年 10 月 31 日までに宮崎大学医学部附属病院において頸動脈狭窄症にて MRI 検査を受けられた方が対象となります。

5. 方法

対象となる方の以下の情報を収集します。

- MRI 画像データ
- CT 画像データ
- 性別、
- 検査時の年齢

頸動脈プラークの MRI・CT 画像を診療放射線技師が画像解析ツールを用いて数値を測定し、コントラスト比を算出します。また、放射線科医師により MRI の画質評価を行います。これらの結果を統計解析し、高速撮像技術を併用した頸動脈プラークイメージングの有用性を検討します。

6. 費用負担

この研究を行うにあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

7．利益および不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

8．個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に特定できないように、数字や記号などに置き換えて使用いたします。

9．研究に関する情報開示について

ご希望があれば、研究計画および研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、研究の独創性確保および個人情報の保護に支障のない範囲内で情報開示を行います。

10．研究資金および利益相反について

この研究に関する経費は、実施責任者が所属する診療科の研究費で賄われます。

なお、本研究の実施責任者と研究担当者は、本研究に関連する企業および団体等からの経済的な利益の提供は受けていないため、申告すべき利益相反^{注1)}はありません。

注1) 臨床研究における利益相反とは、研究者が当該臨床研究に関わる企業および団体等から経済的な利益（謝金、研究費、株式等）の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。

11．研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

12．参加拒否したい場合の連絡先

この研究に参加したくない（自分のデータを使ってほしくない）方は下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。しかしながら、データ解析後、もしくは学会等で発表後は途中辞退することができない場合もあります。

13．疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先

この研究に関して疑問、質問あるいは苦情があった場合は下記連絡先へ連絡をお願いいたします。

宮崎大学医学部附属病院放射線部

氏名 圓崎 将大

電話：0985-85-9421